



みそあじ通信

【教育目標】

- ☆自ら進んでよく学び、よく働く生徒
- ☆心身共に健康で粘り強い生徒
- ☆豊かな個性を育て社会に役立つ生徒

当たり前前のことは当たり前ではない

校長 山田 尚孝

1年前、コロナ禍が明けて日常が取り戻されてきた頃、縮小や中止されていた学校の様々な活動をリスタートして学校に活気が戻ってきていました。その頃は、行事はもちろん、日々の何でもない平凡な毎日ですら、今まで当たり前に行っていたことは実は当たり前ではない、それができると感謝の気持ちをもって日常生活を大事にしてほしいとよく言っていました。現在は当たり前前の日常が戻り、そういうことに思いを巡らすことも減ってしまっている気がしますが、生徒たちには行事が終わるたびに、陰で活躍してくれた実行委員の生徒たちや携わってくれた方々への感謝が大切だという話をよくします。それだけその心持ちは、人間関係や社会を豊かにしていくためにとても大切なものなのです。

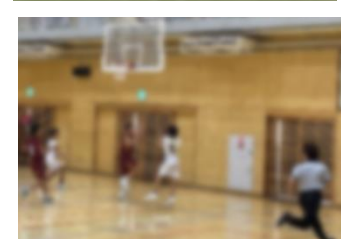
先日、実用英語検定協会から東葛西中学校として奨励賞を受けることができました。奨励賞とは多くの生徒が積極的に英検を受験し成果をあげている学校に送られるものです。現在、検定については学校では取り扱わないというケースが増えています。本校では働き方改革の波も踏まえながら、生徒の学習の機会を確保するために、PTAの2学年委員の方々を中心に試験監督を務めていただいで運営をしています。そのご協力いただいた結晶が、生徒の英語力の向上であり、今回の表彰につながっています。運営に携わっていただいた保護者の皆様、改めて感謝申し上げます。(今回表彰をいただいたのは英検ですが、漢字検定についても学年委員の方々の協力によって運営ができています。) 実はこういった受験機会は当たり前にあるわけではないのです。

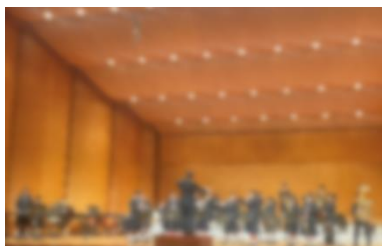
また、先月まで江戸川区秋季総合体育大会(新人戦)が行われ、多くの部活動でブロック大会や都大会に進むことができ多くの生徒たちが頑張っている姿を見せてくれました。その活躍を楽しみに私も多くの会場に足を運びましたが、そこでお会いした保護者の方々に、「先生いつも応援に来ていただいてありがとうございます」と声をかけていただきとても嬉しく思いましたし、とても熱心に応援してもらい生徒たちは幸せだなと感じました。と同時に、運動部だけでなく吹奏楽部や演劇部等多くの部活動で、土日に行われる練習や公式戦、校外や地域での活動に、多くの先生方が指導や引率にあたっていただき、改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。現在、教員を志望する学生が減っているとよく報道で耳にします。その理由のひとつとされているのは部活動だと言われ、働き方改革で真っ先に話題にあがるのも部活動であり、活動を縮小している学校も少なくありません。本校では生徒の活躍の場として、部活動が盛んに行われています。ですがそこで生徒たちが輝けるのは顧問を引き受けてくれている先生方の献身的な下支えがあつてのことだということを改めてご理解いただき、保護者の皆様と一緒にその活躍をサポートできたらと考えています。

今、東葛西中学校では生徒たちが落ち着いた学校生活を送っています。それは生徒たちが頑張っているのが一番の理由ですが、先生方、保護者の皆様、地域の方々が一体となって本校の教育活動を進められているからだと感じます。それを当たり前と思わず、その環境に感謝しながらさらに楽しい学校になるよう全力で取り組んでまいります。



秋季総体の様子





芸能祭音楽会にて



生徒会役員の
皆さんよろしく！



新しい専門委員長
学校を引っ張ります



地域の運動会で
ボランティアとして活躍

給食試食会

美味しく安全な給食が食べられるのも、実は当たり前のことではないのです。

10月25日(金)に給食試食会を開催しました。44名の保護者の方のご参加があり、関心の高さがうかがえました。栄養士の宮澤先生から学校給食の目標や現状についての説明があり、その後実食してもらいました。現在の給食は、価格高騰への対応、栄養価の管理、衛生管理、アレルギー対応等々…たくさんのことを考慮しながら提供されているものです。毎日当たり前のように出てくる給食ですが、生徒の皆さんは当たり前と思わず手をかけて作ってくださった方々に感謝して残さず食べてほしいと思います。

試食会の献立：麦ごはん、エコふりかけ、牛乳、かつおの東煮、おひたし、
手作り卵豆腐のお吸い物、小松菜まんじゅう

以下は、参加した保護者の方の感想の一部です。

- ・食材価格の高騰だけではなく、予算、栄養価、見た目、季節感等たくさん考えていただき、人材不足や衛生面においても日々ご苦労をされていると改めて実感しました。
- ・郷土、世界、イベント等の工夫やかわいらしい盛り付け等、毎日の給食に感謝です。
- ・TVでは最近の給食はメニューが少なく量も少ないと報道されていますが、東中では様々な工夫がされて彩りも良く、ボリュームもあるなあと感じました。
- ・毎日の給食をもっと感謝して食べるように子供に伝えます。
- ・小松菜まんじゅうは和菓子として売り出せるほどのお品だったと思います。
- ・栄養士の先生と調理員の皆様のプライドを感じました。



道徳授業地区公開講座

10月12日の土曜授業(学校公開)では、道徳授業地区公開講座を行いました。道徳が「特別の教科 道徳」となり教科化されて4年目。学習指導要領には目標として、「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自己(人間として)の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。」とされています。いろいろな題材を通して、様々な意見をもつ周りの人と議論して一面的な見方から、多面的・多角的な見方へ、物事の見方を広げることができるか、その題材を自分ごととして自分自身との関わりの中で深めているかが授業でのポイントになります。

今回の土曜授業では、1学年はいじめ問題を取り上げた「あなたならどうしますか」(A 自主、自律、自由と責任)、2学年はチャレンジザ・ドリーム(職場体験)もあるので礼儀の大切さを考える「一枚のはがき」(B 礼儀)、3学年は進路に向けて自分の良さを見つけることができるように「個性ってなんだろう……」(B 向上心、個性の伸長)という題材をそれぞれ取り上げました。道徳の授業の中では「この場面ではこうするのが正しい」という指導をするわけではなく、議論して考えてその上で「捉え方次第で変わりますが、どうしたらいいでしょうかね。あなただったらどうしますか」といった正解のない題材に取り組むことが多いので、大人でも考えさせられるものが多いです。よかったら一度お子様の教材を見てみてはいかがでしょうか。

